

# 地域包括支援センターだより



〈問い合わせ〉地域包括支援センター  
(役場 健康推進課内) TEL (62) 8222

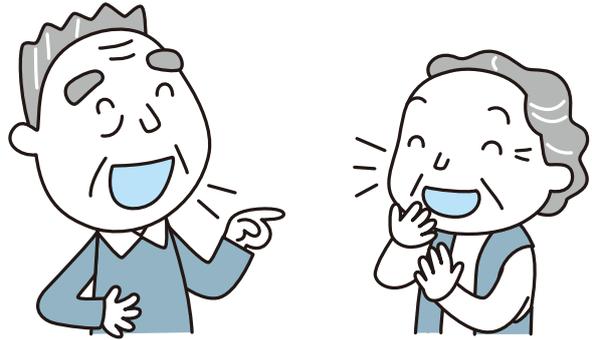
## 認知症予防…

認知症は脳を使うことで、進行を遅らせることができます。手作業や運動を行うことも効果的ですが、人と話すことは、話題を受け止め、関連する物事や記憶をたどり、他者同士の関係性を考え、言葉を発し、笑ったり、うなずいたりさまざまなリアクションを起こさなければならず、意外と脳を使います。

また、皆と集まると日常生活のお得な話、美味しい食べ物、農作物の工夫、介護サービス事業所、病院や整体情報などの内容のほか、高齢期ならではの話もあり、自分に役立つ情報が得られた時は、お金は動いていないのに儲かった感じや満足感など、脳を刺激します。

逆に、暗い話、悲しい話などは、どことなく気分が優れなくなり、「聞かなければ良かった」と心まで沈めてしまいます。

高齢期は、人生仕上げの時ですから、今こそ、童心を思い起こし、楽しいことを積み重ね、脳を刺激し認知症を予防しましょう。



## 南阿蘇村商工会

### 「第10回川西まつり」に今年も出展!

11月13日(日)、今年で10回目を数える兵庫県川西市商工会が開催する川西まつりに、今年も村から出展しました。

出展内容は、毎年好評の南阿蘇のあか牛の串焼き、村商工会のブランド事業である「みなみあそぐらしのめぐみ」から加工品などの販売、米のつかみ取り、その他南阿蘇のPR資料を配布しました。村スタッフは、南阿蘇チーム力、くらしのめぐみの法被を羽織って販売を行いました。

村商工会「みなみあそぐらしのめぐみ」からは、村が選定したジャムや蕎麦など、16品目を販売しました。「以前購入して気に入った「美味しかった」などの声もいただき、少しずつではありますが、認知度が高まってきていることを感じました。

また、南阿蘇の現況を心配されて声を掛けていただく方や、涙を流されて話される女性もおられました。まつりの終盤には、くまモンも登場し、川西市のゆるキャラ、きんたんと対決が始まり、小さなお子さまやくまモンファンが殺到し、相変わらずの人気ぶりでした。

南阿蘇ブースの看板商品である、あか牛の串焼きは早期完売をし、加工品もほぼ完売し、大盛況に終わった川西まつり。来年度も引き続き出展し、南阿蘇村のPRを図っていききたいと思っております。

### ■小規模事業者持続化補助金公募中!

すでに公募がスタートしている「小規模事業者持続化補助金」。毎回、商工業者の方々が強い関心を持たれている補助制度です。

1次公募については締め切られました。2次公募の受付締め切りは来年1月27日(金)となっております。(別途、南阿蘇村商工会の締め切りがありますので、事前にご確認ください)

本補助金に関する詳細は、熊本県商工会連合会のホームページをご確認いただき、申請に関するご相談等は村商工会までお問い合わせください。

南阿蘇村商工会 白水本所 電話 62・9435

